

2015 AUTOBACS SUPER GT Round 1 OKAYAMA GT 300Km RACE

2015年4月4日(土)~4月5日(日)

決勝 レポート

82 Laps



場所:岡山国際サーキット(岡山県) 1周 3.703 km

天候:曇り、雨 / コース:ウェット / 気温:18℃ / 路温:20℃ / 観客動員数:17,000人

上位奪還ならず

2015年 SUPER GT 第1戦の決勝が岡山国際サーキット(岡山県)で行われた。さらに進化した#61 SUBARU BRZ R&D SPORT は、昨日の予選では不本意な結果に終わったが、何とか初戦で結果を出したいところである。

4月5日(日)

<決勝 82LAPS / 14:30~>

時折雨が降り昨日より寒い一日となった。雨は止んでいるが路面は乾かず、ウェット宣言の中でのスタートとなった。多くの車がウェットタイヤを選択する中、チームは後方からのスタートである事、また、路面が早期に乾くと判断しドライタイヤを選択する。山内英輝がスタートを受け持ち、19番からのスタートを切る。ドライタイヤゆえに苦しい走りとなり、コースにとどまるのが精いっぱい状況である。早く路面が乾き出し挽回したいところであるが、思ったほど乾いてこ



www.rdsport.net

ない。やっと乾き出したのも束の間で、また小雨が降り出す。34周目、チームはドライバー交代とウェットタイヤへの交換を決断する。迅速なピット作業後、井口卓人は落ち着いた走りで順位を上げ、17位でチェッカーを受ける。なお、GT500クラスの優勝は#37 KeePer TOM'S RC Fが、GT300クラスは#31 TOYOTA PRIUS apr GTが制した。



■本島監督 コメント



ドライバーもメカニックも悪条件の中、素晴らしい仕事をしてくれました。完走も出来ましたしデータも沢山取れました。次戦富士、頑張ります。

■井口 卓人 コメント



今シーズンは、車もタイヤもドライバーも昨年から変わりました。そんな中、1月のセパテストから始まり、開幕戦で勝つために準備を進めてきました。しかし、フリー走行から予選にかけて厳しい戦いになりました。車とタイヤのマッチングが完璧ではなく、BRZの速さを出す事が出来ませんでした。決勝は、難しいコンディションでしたが、予選の順位を考えればドライタイヤでスタートする事は間違いではなかったと思います。結果的に路面が乾いてくるのに時間がかかり、その時点で勝負権を失いました。後半スタントのウェットコンディションは悪くないパフォーマンスだったので、17位という結果でしたが良い面もあったかなと思います。もっとも全体のスピードのレベルを上げないと、今のGT300で戦っていくのは厳しい戦いだと改めて感じました。もっとレベルアップできるようにチームとミーティングを重ねて、次戦の富士では良い結果を出せるように頑張ります。

■山内 英輝 コメント



今回決勝のタイヤチョイスは、戦略が決まればとても期待が出来るものでありました。しかし天候が味方してくれず、良い流れを作ることが出来なくて悔しい週末となりましたが、次に結果を残せるように頑張りたいと思います。

予選の詳細に関しては SUPER GTホームページ <http://supergt.net/pages>、
またSUBARUモータースポーツニュース <http://www.subaru-msm.com/2015/sgt/> もご覧ください

2015年4月5日
SUBARU BRZ
アールアンドデースポーツ
<http://www.rdsport.net/>



www.rdsport.net